FUKUVI

透湿ルーフィング

遮熱ルーフエアテックス

施工説明書

このたびは、フクビ製品「遮熱ルーフエアテックス」をお買い上げくださいまして有難うございました。
下記の施工説明をよく御覧の上、正しく施工を行ってください。

施工前に以下の注意事項を、必ずご確認ください。

施工前の注意事項

⚠ 事前確認に関して

①屋根勾配の確認

- ●陸屋根には使用しないでください。
- ●屋根勾配は1寸勾配以上としてください。ただし屋根材（瓦・化粧スレート・金属系など）に、1寸より大きい勾配指定がある場合は、その指定に従ってください。

②屋根材の確認

屋根材と本製品の間の空間は、湿気排出が可能な納まりとしてください。特に化粧スレート屋根や金属屋根の場合は、垂木を2重にするなど、通気下地屋根工法で施工してください。

③下地の確認

- ●野地板は、ひき板または合板としてください。
- ●野地板を十分に乾燥させてから本製品を施工してください。
- ●野地板は隙間をあけず、段差なく施工してください。
- ●野地板面に釘頭などが突き出ていたり、突起物がある場合は、野地板面に合わせて平滑にしてください。
- ●必ず野地板面を清掃してから本製品を施工してください。

⚠ 搬入及び保管に関して

①放り投げるなどの乱暴な扱いは避けてください。
②防水クラフト紙で包装された状態で保管してください。
③直射日光が当たらない屋内や仮設小屋（50℃以下の温度条件下）で水がかからないように保管してください。
④やむを得ず屋外に保管する場合は、地面に直置きにしないように、上からシートなどで養生し、風に飛ばされないようにしてください。**（雨天時に水が溜まるおそれのある所は避けてください。）**
⑤大きな荷重が直接かからないように縦積みにして保管してください。
⑥高熱によって溶けますので、火や高熱物を近づけないでください。

⚠ 作業時に関して

①作業時は身軽な作業服を着用し、保護帽、安全帯、地下足袋などを必ず装着してください。
（革靴など滑りやすい靴は禁止）
②地下足袋などの靴底に、土・泥・汚れなどの滑りやすいものが付着していないことを確認してください。
③施工中に、施工関連材料を勾配屋根上に一時保管する場合は、適切な滑り防止・落下防止措置を取ってください。
④作業時にまぶしさを感じる場合は、サングラスを装着する等の保護対策を施してください。

施工時の注意事項

⚠ 警告

- ●ステープルなどの仮止め本数が少ない場合、施工時に本製品ごと滑り落ちる恐れがあります。
- ●防水テープ表面は滑りやすい場合があるので、施工時にはテープ上に乗らないでください。
- ●防水テープは、アクリル系、ブチル系等を使用してください。
- ●本製品には表と裏があります。必ず印刷面を表にして施工してください。
- ●本製品同士を重ねる部分は必ずステープルで固定してください。

⚠ 注意

- ●ステープルなど仮止め部材は腐食しにくい材質（ステンレス等）のものをご使用ください。
- ●屋根材等を留める釘を野地板の隙間に打ち込まないようにしてください。
- ●ステープルや釘の打ち損じにより本製品が損傷（破れ、穴あきなど）した場合やステープルが野地板の隙間に打ち込まれた場合などは、漏水の恐れがありますので、防水テープで補修してください。
- ●墨打ち時は釘穴があかないように2人で作業するか、穴をあけた場合は防水テープで補修してください。
- ●本製品とそれ以外の屋根下葺き材との併用は避けてください。
- ●本製品には継ぎ目がある場合がありますが、機能上、問題ありません。

⚠ 廃棄について

- ●各地域の廃棄物処理指針に従って処理してください。

施工後の注意事項

⚠ 警告

- ●施工時、雨水や露などで本製品表面が濡れている時は滑りやすいので作業しないでください。滑り落ちる恐れがあります。

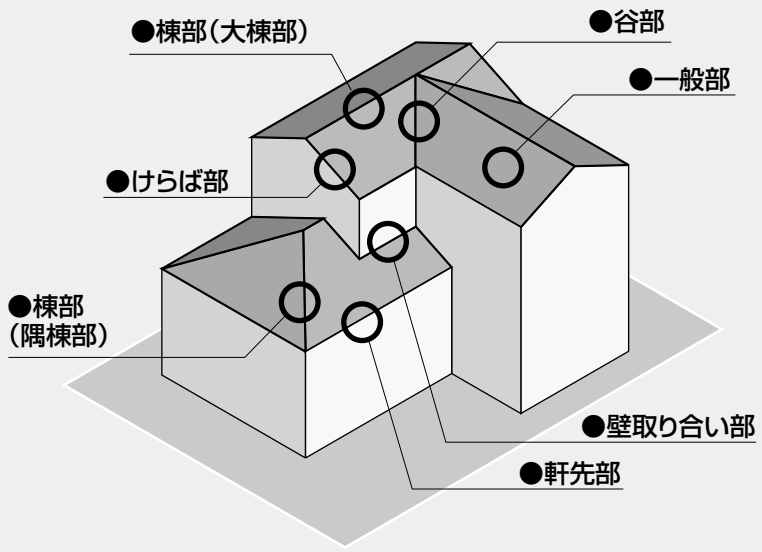
⚠ 注意

- ●瓦桟工法には、必ず流し桟またはフクビ樹脂製瓦桟「**エコランバー**」をご使用ください。**（本製品に水が溜まった状態が続きますと、裏面で結露が発生する可能性があるため、雨水が溜まらない工法としてください。）**
- ●墨打ち後、雨水や露などで墨が流れ落ちることがあります。
- ●本製品施工完了後は、2週間以内に屋根材を施工してください。

⚠ 屋根材施工について

- ●本製品上へ直接屋根材を仮置きすることは避けてください。
- ●遮熱ルーフエアテックスに防腐剤・防蟻剤などの薬剤を含んだ桟木などを使用する場合は、薬剤が十分に乾燥していることを確認してください。**（本製品の防水性が低下することがあります。）**
- ●屋根材及び桟木固定用の釘はステンレス製をご使用ください。
- ●本製品は瓦加工におけるサンダー処理や溶接などの火花・タバコの火などにより、穴があいたり燃えたりする可能性がありますので、火気使用の場合は本製品を養生してください。

■施工部位

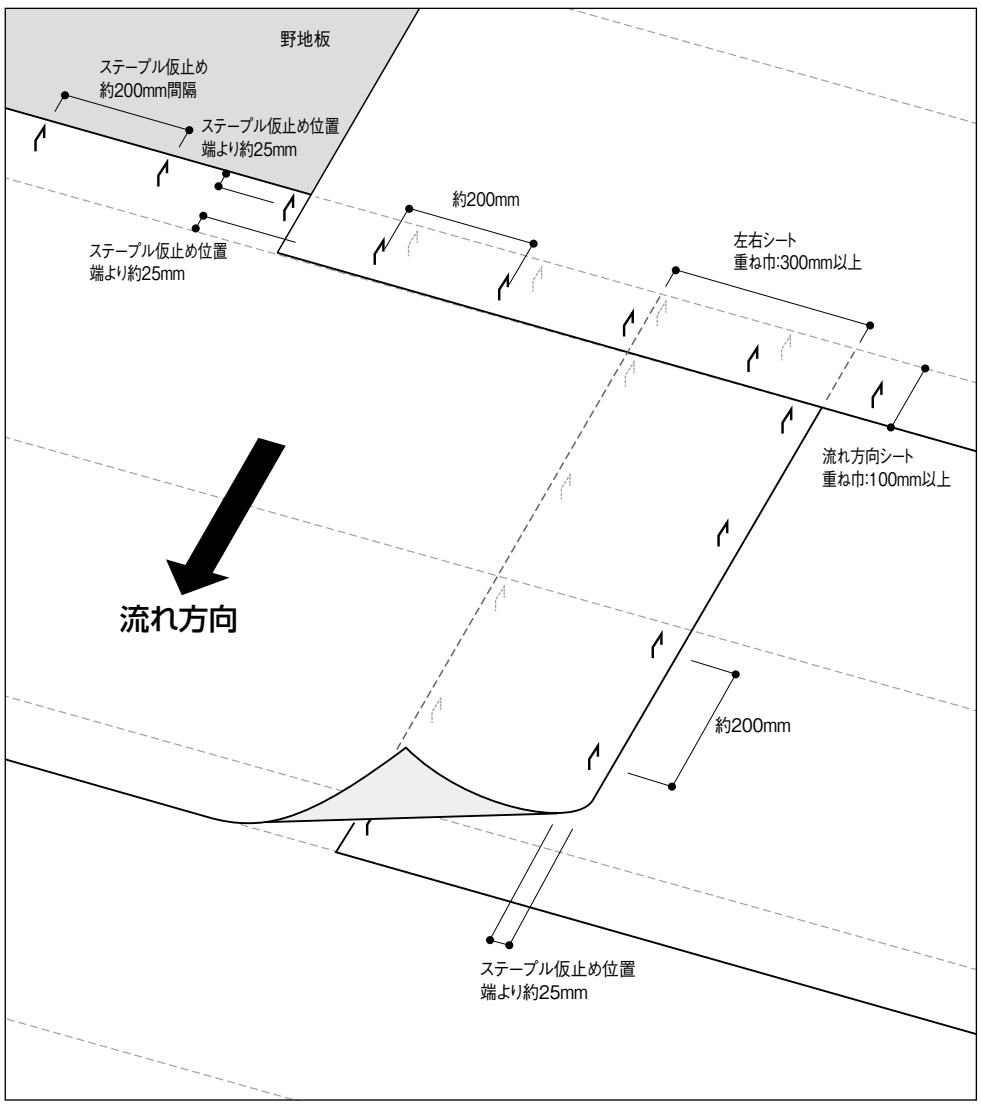


「遮熱ルーフエアテックス」の張り方

●ステープルは腐食しにくい材質(ステンレス等)のものを使用してください。

●ステープルは、本製品の重ね合わせの部分(下記①～③)に約200mm間隔で留め付けてください。
①流れ方向シート上端部から約25mmの位置
②長手方向の重ね合わせ部のシート端部から約25mmの位置
③流れ方向シート下端部から約25mmの位置

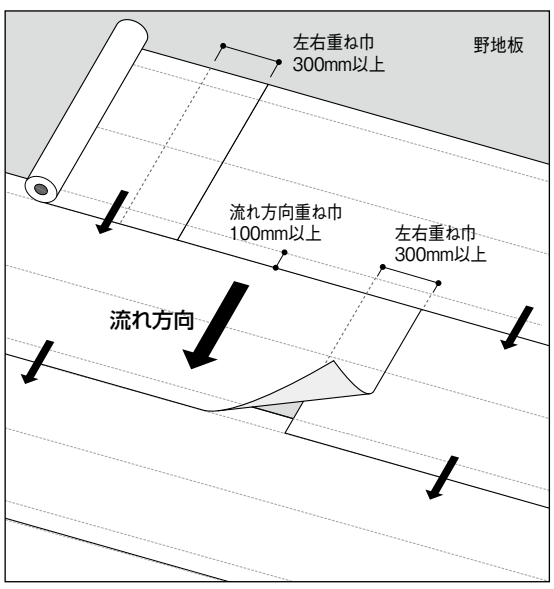
●ステープルの打ち損じ、野地板の隙間への打ち込み、強く打ち込み過ぎた場合などは、漏水の恐れがありますので防水テープにて補修してください。



一般部

●軒先より張り始め、屋根の流れ方向に対して垂直に横張りし、上下(流れ方向)の重ね幅は100mm以上、左右の重ね巾は300mm以上としてください。

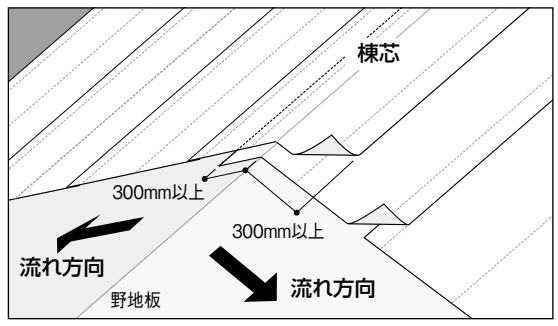
●本製品左右の継目は接近しないように乱張りとしてください。



大棟部

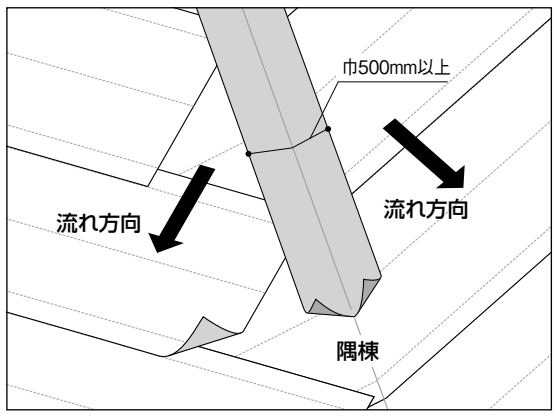
●棟の両側に300mm以上づつ振り分けて二重張りにしてください。

●必要に応じて棟に巾500mm以上の本製品を増し張りしてください。



隅棟部

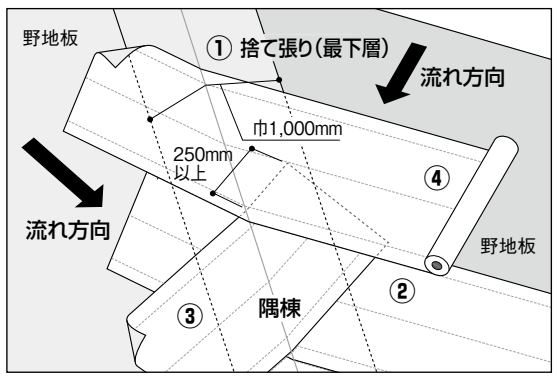
●隅棟部は、十分に重ね合わせた後、巾500mm以上の本製品を張ってください。



谷部

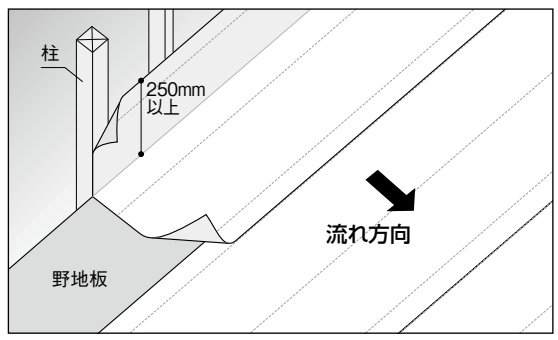
●谷部は、最下層に巾1,000mmの本製品を野地板に密着させるよう捨て張り①を行います。

●その上に谷の両側を250mm以上張り分けて②③④の順で十分に重ね合わせ、二重張りとします。

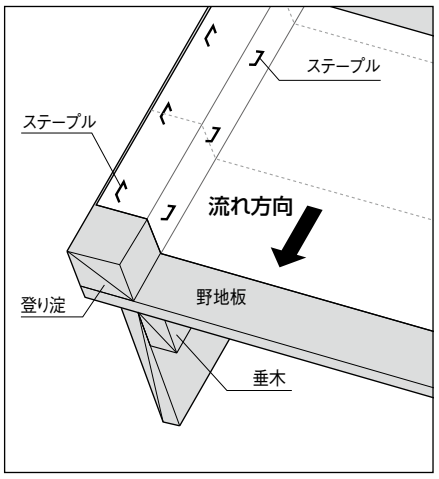


壁取り合い部

●壁の下地に沿って、250mm以上立ち上げてください。

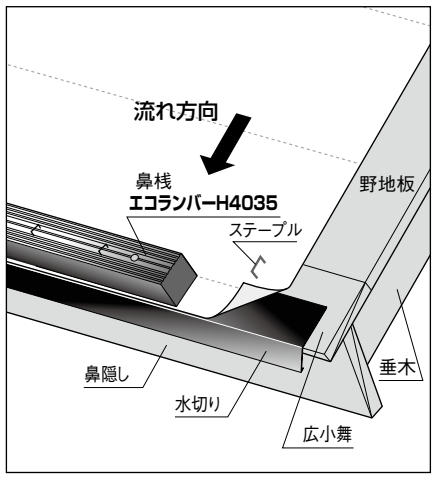


けらば部



●本製品端部を登り淀などの上端まで被せてください。

軒先部



●本製品を広小舞の先端まで被せてください。

フクビ化学工業株式会社 https://www.fukuvi.co.jp
本社／福井市三十八社町33-66 ☎(0776)38-8013 〒918-8585

2025. 4 Ⓣ